

図画工作科学習指導案

令和3年10月 第6学年 指導者 亀井 章央

1 題材名 ややこし装置研究所～いつものあの動きをややこしくしよう～

2 学習指導要領上の位置付け

A 表現

- (1) イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから、表したいことを見付けることや、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えること。
- (2) イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。

B 鑑賞

- (1) ア 親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること。

[共通事項]

- (1) ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。
イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。

3 目標

様々な材料でつくった動きの連鎖をつくりながら、自分なりのややこしさを追求していく連鎖装置の製作を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- ア・日常的な動作につながるように表したいことを見付けたり、その動作をする環境に合わせてややこしさを工夫して表したりするときの感覚や行為を通して、連鎖する仕組みの動きを理解する。
 - ・紙などの身辺材料と、はさみや接着剤、カッターなどの用具を適切に扱うとともに、前学年までの木材や釘、針金、段ボールについての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した材料などを組み合わせたりするなどして、動きの連鎖の表し方に合わせてややこしさを工夫して表す。(知識及び技能)
- イ・材料そのものが持ち合わせている形、材料の組み合わせによるものの動きの連鎖、日常的な動作を行う環境などから、動きの連鎖の表し方を見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのようにしてややこしいからくり装置に表すかについて考える。
 - ・動きが連鎖しややこしくなる仕組みの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。(思考力、判断力、表現力等)
- ウ・様々な動きの連鎖を挟みこむことにより、ややこしくする連鎖装置づくりに主体的に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画 ※別紙参照

5 本時の展開（3／8）

(1) ねらい

材料の形、組み合わせ、環境などを工夫して製作する活動を通して、動きの連鎖を起こすための要素を捉えながら、自分なりのややこしい動きの連鎖の表し方を見付け、製作できるようにする。

(2) 展開

<p>学習活動 ・予想される児童（生徒）の反応</p>	<p>時間</p>	<p>○指導上の留意点 ◎研究上の手立て 評価項目<方法（観点）> [記] 記録に残す評価</p>
<p>1 前回の振り返りと参考作品をもとにして、本時の見通しをもち、めあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動きの連鎖をつくるためには、様々な材料を使ったり、組み合わせを考えたり、動かす環境も工夫するとややこしい動きができることが分かったから、今日つくるものは、動きのつながり方を考えながら、自分なりのややこしい動きをつくっていこう。 	<p>5分</p>	<p>◎ ICT端末を起動させて、前回作ったポートフォリオの振り返りを基に、児童一人一人が自らにあった見通しをもてるようにする。</p> <p>○見通しがもてない児童には、過去のポートフォリオや振り返り等を見ることを促し、見通しをもつきっかけをつかめるようにする。</p> <p>○友達のポートフォリオを双方向授業支援アプリ上で見てもよいことを伝え、アイデアの共有ができるようにする。</p>
<p>[めあて] 材料の使い方や動かす場所を工夫して、自分なりのややこしい動きの連鎖をつくろう。</p>		
<p>2 材料の形や材料の組み合わせを工夫したり、動かす環境を工夫したりして、動きの連鎖を見付け、製作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料の形や材質によって転がり方が違うんだな。 ・材料の組み合わせ方によって動きが変わるんだな。いろいろなアイデアが出せそうだ。 ・材料を組み立てる環境も工夫すると、より動きの連鎖が生まれることが分かった。 ・動きの連鎖をつくるために、今まで使ったことのある経験や技能を使うことができそうだ。 ・様々な材料があるから、たくさん使っているいろいろな動きを試してみよう。 ・動きのつながりをさせるためにはどのような工夫をすればよいだろうか。友達の装置を見に行ったり、ヒント動画を見たりしてみよう。 	<p>30分</p>	<p>◎めあてがつかめない児童には、第1時のポートフォリオを見直し、動きの連鎖をつくり出すにはどうすればよいか考え直させたり、友達の振り返りを見るよう促したりすることで、本時の見通しをもてるようにする。</p> <p>○様々な材料を試しながら製作できるように材料や道具の置き場を工夫して設定することで、材料の形や使い方の工夫をしたり、材料の組み合わせを工夫したりできるようにする。</p> <p>○児童の表現の実物を見せたり、双方向授業支援アプリの共有機能を使ったり、電子黒板に映し出したりし、各自のアイデアを共有させることで、友達のアイデアを表現に生かしたり、自らのアイデアにより自信をもったりできるようにする。</p> <p>○前時終了後、双方向授業支援アプリ上に上がったポートフォリオを確認しておき、前時の振り返り時に困っている児童をあらかじめ把握しておくことで、助言を行えるようにしておく。</p> <p>◎ここまででアイデアが思い浮かばなかった児童には、児童がつくった装置を録画した、ヒント動画を見て製作に生かしていることを伝える。</p> <p>○児童のポートフォリオはそのまま共有できるようにしておき、アイデアの種になるようにしておく。</p>

		<p>材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した材料などを組み合わせたりするなどして、動きの連鎖の表し方に合わせてややこしさを工夫して表し、その中で連鎖する仕組みの動きをつくっている。</p> <p>＜作品、ポートフォリオ（ICT）（1）＞</p>
<p>3 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料の形を基にしたり、材料の組み合わせや動かす場所を工夫したりすると、様々な動きが組み合わせたり、動きの連鎖をつくることができた。 ・連鎖する動きをつくり出すためには、どのように動きをつなげるかが重要だ。 	<p>10分</p>	<p>シートに 本時の作品の写真や動画を撮影し、本時の自分なりに工夫したところを具体的に書かせポートフォリオを作成することで、次時導入時に自分で学習の見通しをもてるようにする。</p> <p>○つまずいている児童には、めあてに向かって今日工夫したところや試行錯誤したところ、これから工夫したいところなど記録するときの視点を与えることで、本時の振り返りができるように促す。</p>

6 板書計画

10/4

[めあて]

材料の使い方や動かす場所を工夫して、自分なりのややこしい動きの連鎖をつくろう。

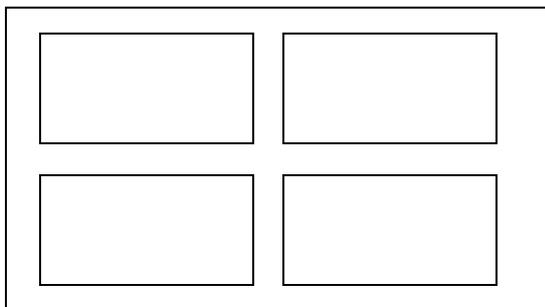
※前回の活動の動画から、児童が気付いたことを書き出す

「様々な材料 材料の組み合わせ 動かす環境・場所」

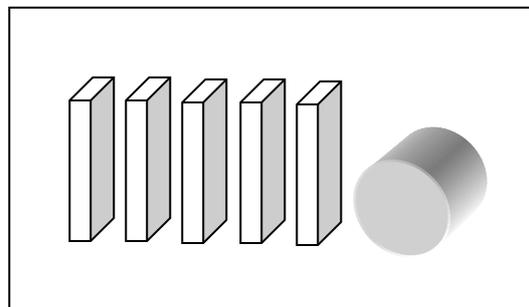
児童なりのややこしい動きについて問い掛け、児童の言葉を拾い上げる

7 電子黒板

前回のポートフォリオを映し出したり



製作中の作品を撮って動画で映す



<p>目標</p>	<p>様々な材料でつくった動きの連鎖をつくりながら、自分なりのややこしさを追究していく連鎖装置の製作を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア・日常的な動作につながるように表したいことを見付けたり、その動作をする環境に合わせてややこしさを工夫して表したりするときの感覚や行為を通して、連鎖する仕組みの動きを理解する。</p> <p>・紙などの身近な材料と、はさみや接着剤、カッターなどの用具を適切に扱うとともに、前学年までの木材や釘や針金、段ボールについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した材料などを組み合わせたりするなどして、動きの連鎖の表し方に合わせてややこしさを工夫して表す。(知識及び技能)</p> <p>イ・材料そのものが持ち合わせている形、材料の組み合わせによるものの動きの連鎖、日常的な動作を行う環境などから、動きの連鎖の表し方を見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのようにしてややこしい連鎖装置に表すかについて考える。</p> <p>・動きが連鎖しややこしくなる仕組みの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>ウ・様々な動きの連鎖を挟みこむことにより、ややこしくする連鎖装置づくりに主体的に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)</p>		
<p>評価規準</p>	<p>(1)・日常的な動作につながるように表したいことを見付けたり、その動作をする環境に合わせてややこしさを工夫して表したりするときの感覚や行為を通して、連鎖する仕組みの動きを理解している。[知識]</p> <p>・紙などの身近な材料と、はさみや接着剤、カッターなどの用具を適切に扱うとともに、前学年までの木材や釘や針金、段ボールなどについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した材料などを組み合わせたりするなどして、動きの連鎖の表し方に合わせてややこしさを工夫して表している。[技能] (知識・技能)</p> <p>(2)・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、材料そのものが持ち合わせている形、材料の組み合わせによるものの動きの変化、日常的な動作を行う環境などから、動きの連鎖の表し方を見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのようにしてややこしい連鎖装置に表すかについて考えている。[発想・構想]</p> <p>・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、動きが連鎖しややこしくなる仕組みの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、ややこしさを表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。[鑑賞] (思考・判断・表現)</p> <p>(3)・つくりだす喜びを味わい、主体的に材料を加工し組み合わせを考え、自らの表したい動きに対して自らの学習を調整しながらややこしい連鎖装置を製作したり、ややこしくするための動きの連鎖の工夫を鑑賞したりして、学習活動に取り組もうとしている。[態度] (主体的に学習に取り組む態度)</p>		
<p>過程</p>	<p>時間</p>	<p>○ねらい めあて</p>	<p>・振り返り (意識)</p> <p>評価項目 <方法(観点)> [記] 記録に残す評価</p>
<p>出会う</p>	<p>1</p>	<p>○参考作品や映像作品を鑑賞する活動を通して、ややこしくしたい動きを見付けることができ、ややこしくするための材料を加工や組み合わせを考えたり、表現の見通しをもったりできるようにする。</p> <p>題材の目標 いつもの簡単な動きを基に、面白い動きがつながるややこし装置をつくろう</p>	<p>・いつもなら簡単にできることがややこしくなるけど面白い。</p> <p>・動きの連鎖が面白いな。</p> <p>・映像作品や参考作品を見て、材料の形を生かしたり、組み合わせや設置する環境を工夫したりしていることが分かった。どのようなややこし装置をつくってみよう。</p> <p>・日常で習慣的に行っている簡単にできる動作を、様々な動きの連鎖を挟みこむことにより、ややこしくする連鎖装置に興味をもち、ややこしくするための材料の加工や組み合わせの工夫に着目している。</p> <p><観察、ポートフォリオ(3)></p>
<p>試す・広げる</p>	<p>1</p>	<p>○動画作品を見たり、連鎖する仕組みを試しにつくったりし、絵コンテに表す活動を通して、材料の形、組み合わせ、環境を意識した動きの連鎖の表し方を見付け、構想を練られるようにする。</p> <p>動画を見たり、試しにつくったりして、どのような動きを連鎖させるややこし装置にするか考えよう。</p>	<p>・動画を見たり、試しにつくってみたりして連鎖する仕組みを考えたことで、自分の装置に何を使うか、何と何を組み合わせるか、どのような場所で動かすかなどが見えてきた。</p> <p>・連鎖する動きをつくるためには、様々な材料を使ったり、組み合わせを考えたり、動かす環境も工夫するとよいことが分かった。</p> <p>・材料そのものが持ち合わせている形、組み合わせによる動きの変化、日常的な動作を行う環境などから、動きの連鎖の表し方を見付けている。</p> <p><観察、ポートフォリオ(2)></p>
<p>表す</p>	<p>3 本時は 1 ／ 3</p>	<p>○材料の形、組み合わせ、環境などを工夫させて製作する活動を通して、動きの連鎖を起こすための要素を捉えながら、自分なりの動きの連鎖の表し方を見付け、製作できるようにする。</p> <p>材料の使い方や動かす場所を工夫して、自分なりのややこしい動きの連鎖をつくろう。</p>	<p>・今まで使ったことのある材料や用具の経験や技能を使うことができ、動きの連鎖をつくり出すことができた。</p> <p>・日常的な動きを基に、どのような場所で動かすかもこだわることができた。</p> <p>・連鎖する動きをつくるためには、どのように動き同士をつなげるかが重要だ。</p> <p>・材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した材料を組み合わせたりするなどして、動きの連鎖の表し方に合わせてややこしさを工夫して表し、その中で連鎖する仕組みの動きをつくらせている。</p> <p><作品、ポートフォリオ(1)></p>

	2	<p>○今までの学習を生かし、日常的な動作につながるように作品をつくり、動画にまとめられるようにする。</p> <div data-bbox="311 285 909 373" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>今までの学習から学んだことを生かし、自分なりのややこし装置を仕上げよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の形を生かしたり、材料の組み合わせや動かす環境を工夫したりして、自分なりのややこしい連鎖をす装置をつくることできた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の形の特徴を生かしたり、材料と用具の組み合わせを工夫したりして、動きの連鎖を考えて、自分なりのややこしい動きをつくりだすことができている。 <p><作品、ポートフォリオ(1)></p>
振り返る	1	<p>○ポートフォリオを見て今までの活動を想起し、前時の終わりに撮影をした連鎖装置の動画を見合う活動を通して、ややこしくするための工夫と試行錯誤を振り返ることができるようにする。</p> <div data-bbox="311 653 909 779" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>作品の鑑賞をし合い、自分や友達のややこしくするための工夫と試行錯誤の仕方を見付けよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の形を生かしたり、材料の組み合わせや動かす環境を工夫したりすることによって、複雑な動きが起き、一つの動きが別の動きを引き起こすことで、こちらが考えてもいないような動きが引き起こされているな。 ・この工作で学んだ材料の生かし方、組み合わせ方、環境の設定、考え方を次の活動に生かしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動きの連鎖を起こすための材料の形の生かし方や組み合わせ、動かす環境のよさや工夫、試行錯誤の仕方を味わうことができている。 <p><発言、ワークシート(3)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・動きが連鎖しややこしくなる仕組みの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、ややこしさの表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。 <p><発言、ポートフォリオ(2)></p>